



全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年4月18日（木）に、小学校6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果が7月末に文部科学省から公表されています。この調査は、児童の学力や学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てていくことを目的としています。一方、調査により測定できるのは、学力の一部となりますので、このことを十分に考慮したうえで、学校と家庭と地域が連携し、学校での教育活動をより充実させていきたいと思っております。

【国語・算数の成果】

- 解答を**最後まであきらめず**に書こうと**努力した**児童が多い。
- 目的や意図に応じて**、集めた材料を**分類したり関係付けたりして**、**伝え合う内容を検討することができる**。
- 物語を読む際に、登場人物の**人物像を具体的に想像することができる**。
- 計算の仕方を考察し、計算に関して成り立つ性質を活用しながら、**式や言葉を用いて記述することができる**。

【国語・算数の課題】

- ▲読書時間や読書量が**少ない**。
- ▲交流活動の場面で、話し方を変えることは敬語にすると考える児童がいる。
- ▲分速（速さの単位）の意味について**理解できていない**児童がいる。
- ▲折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に合わせて**記述することが苦手な**児童がいる。



【課題改善に向けた具体的な取組】

- ・毎週月・金曜日に読書の時間を設定したり、読み聞かせボランティアや教師による読み聞かせを行ったりして、**本に親しむ機会を増やす**。
- ・「読む・書くワークシート」「よむ YOMU ワークシート」に取り組み、**文字を読むことに慣れさせる**。
- ・掲示物「聞き方名人」「話し方名人」「パス語で話そう」を使って、**友だちの意見を受け入れたり安心して話したりできる**雰囲気づくりを行う。
- ・振り返り活動で分かったことやできるようになったこと、友だちの考えを聞いて思ったことなどを**書いたり、交流したりする**。

【今、求められる力について（質問紙調査より）】

	児童質問紙	自校	全国
主体的な学び	授業では、課題の解決に向けて、 自分で考え 、自分から取り組んでいた。	83.4	81.9
対話的な学び	学級の 友達との間で話し合う 活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	83.3	86.3
深い学び	授業で学んだことを、 次の学習や実生活に結びつけて 考えたり、生かしたりすることができると思う	83.3	83.7
個別最適な学び	ICT機器を活用 することで、 自分のペース で理解しながら学習を進めることができる	86.6	85.5
協働的な学び	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに 協力しながら課題の解決 に取り組んでいる	96.7	91.6
学びのアウトプット	授業では、各教科で学んだことを生かしながら、 自分の考えをまとめる 活動を行っていた	83.4	79.6



【課題改善に向けた授業改善】

- ・グループでわからないところを教え合ったり、自分の考えを友だちと交流したりする機会を増やしていきます。
- ・地域ボランティアの方の力をかりながら、色々な体験学習を行い、「発見したこと、わかったこと」等自分の考えをまとめて発表する機会を増やしていきます。
- ・ICT 端末を使って、調べたり、まとめたりする活動を増やしていきます。

【非認知能力について（質問紙調査より）】

	児童質問紙	自校	全国
やりぬく力	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	73.3	80.7
自制心	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	63.3	71.1
自己肯定感	自分には、よいところがあると思う	93.4	84.1
社会性	人が困っているときは、進んで助けている	93.3	92.7



【非認知能力を育成するために家庭でできることを生成 AI に聞いてみました】

《家庭での取組の例》

- ・コミュニケーションを大切にする。（共感する、質問して考えるきっかけをつくる）
- ・挑戦を応援する。（失敗から学ぶことを教える、目標を設定し努力する過程を経験させる）
- ・自分で決めさせる。（服を選ぶ、遊ぶ時間を決める等、自分で決める機会を増やす）
- ・責任を持たせる。（簡単な家事等の役割を与える）
- ・読書の習慣をつける（絵本の読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりする）